

# 福島第二原子力発電所からのお知らせ（平成26年3月号）

福島第二原子力発電所1～4号機は、安定した冷温停止を維持しています。発電所の最新状況や、様々な取り組みをお知らせします。

## 消防車を使った火災訓練を行い 消火技能の向上をはかりました

- 当所では、平成19年の新潟県中越沖地震の事例を踏まえ、火災が発生した際の初動対応を迅速に行えるよう自衛消防隊を組織し、日頃から訓練に取り組んでいます。また、所内に消防用資機材（消防車2台、防火服、空気ボンベ等）を配備し、消火活動を確実に進めるよう備えています。
- 3月19日、自衛消防隊の消火技能の向上をはかるため、所員約40名が参加し、富岡消防署と合同で火災訓練を行いました。
- 訓練は、火災発見者による119番通報（模擬）から開始し、自衛消防隊による消防車出動から放水まで、一連の消火活動を展開しました。これらの訓練を富岡消防署と連携して行うことで、より実践的な訓練となりました。
- 引き続き訓練を重ね、状況判断・対応力の向上に努めます。



消火器による初期消火訓練（自衛消防隊）



消火訓練（自衛消防隊）



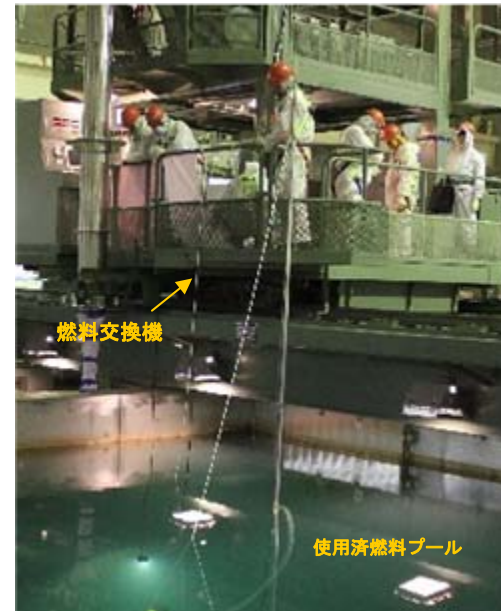
消火訓練（富岡消防署）



富岡消防署による講評

## 1号機で安全に燃料を移動するため 準備を進めています

- 当所では、設備の維持管理簡素化の観点から原子炉にある燃料を使用済燃料プールへ移動し、一括管理することとしており、現在、1号機で準備を進めています。その作業のひとつとして、3月3日から6日にかけて、原子炉から移動した使用済燃料を保管するためのラック（使用済燃料貯蔵ラック）の点検を行い、燃料を安全に保管できることを確認しました。
- 点検は、同プール上の燃料交換機から水中カメラを吊り下ろし、使用済燃料貯蔵ラックや据え付け用のボルトなどをカメラで撮影、その映像を工事監理員がチェックするという手順で行いました。
- 今後も燃料移動に関わる設備について、事前の点検を進めていきます。
- なお、同プールの床面に異物等を確認したことから回収しました\*。



燃料交換機

使用済燃料プール

燃料交換機上から水中カメラを吊り下ろしている様子



燃料集合体が収まっている状態の  
使用済燃料貯蔵ラック



工事監理員が映像を確認している様子

\*点検で確認・回収した異物等は、プール内の燃料等に影響がないことを確認しています。今後、プール床面にあった原因について調査します。

## 重大事故に備えた取り組みを紹介します ～電源車等を配備して電源を強化しています～

- 当所では、震災時の福島第一原子力発電所における全電源喪失事故を受け、原子炉や使用済燃料プールの冷却の維持に必要な電気を供給するため、電源車(9台)と大容量のガスタービン発電機車(2セット)を配備しています。
- 電源車は、主に原子炉等に注水するポンプの電源として、プラントの近くへ移動して使います。
- ガスタービン発電機車は、通常、高台(海拔約46m)に配置し各プラントとケーブルで接続しており、原子炉の冷却を維持するための系統など、比較的大容量の電気を必要とするものに使います。必要に応じて移動できるよう、トラックに発電機等を積んでおり、機動力を持たせています。
- また、高台には、約7日分の燃料を保管する地下タンクを設置しています。

○電源車やガスタービン発電機車を使用した訓練の様子



電源車からのケーブル引き出し



ガスタービン発電機車の起動操作

### 電源車とガスタービン発電機車



電源車

発電容量(500kVA)は、一般家庭約160軒分の消費電力に相当します。



ガスタービン発電機車

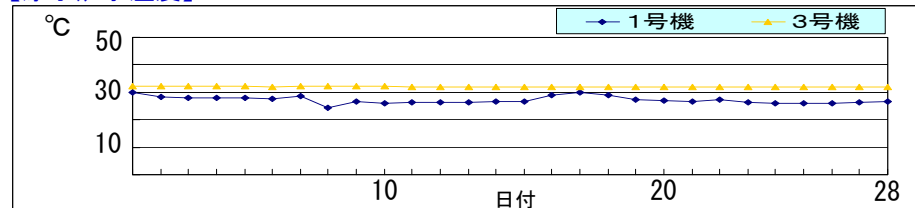
発電容量(4,500kVA)は、一般家庭約1,500軒分の消費電力に相当します。

## 【プラントデータ】

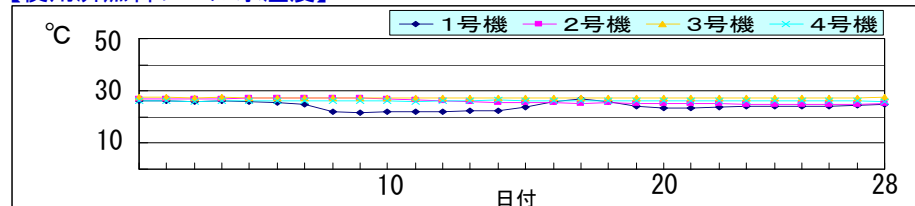
### 燃料の冷却状況(2月分)

原子炉水および使用済燃料プール水の温度は、約30℃程度で安定して推移しており、燃料の冷却を維持しています。

#### 【原子炉水温度】



#### 【使用済燃料プール水温度】



発電所敷地境界付近の空間放射線量率(1時間あたりの放射線の量)については、当社ホームページをご覧ください。

<当社ホームページ><http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/index-j.html>

### 1、2号機の電源設備を修理し通常の状態に戻しました

- 前月号でお知らせした電源設備からの異音については、起動変圧器\*に接続しているケーブルの接地線が外れていたことが原因とわかり、これらを修理しました。
- この調査・修理に際しては、1、2号機側に2台あるうちの残り1台の起動変圧器が万一停止した場合でも、プラントに必要な電気が十分確保できるように、3、4号機側から電気を送ることができるルートをつくりました。また、バックアップとして、非常用ディーゼル発電機やガスタービン発電機車がいつでも起動できる状態であることを確認しました。
- 現在は、修理により電源設備が復旧したことから、電気を送るルートは通常の状態に戻っています。

\* 起動変圧器：原子炉の起動時などに発電所の外部から各機器へ電気を供給するための変圧器



復旧後の起動変圧器

福島第二原子力発電所は、引き続き安定した冷温停止を維持してまいります。

【お問い合わせ】福島第二原子力発電所 企画広報グループ  
tel 0240-25-1353 受付時間(平日)午前9時～午後5時